

生かそう憲法 守ろう9条 11.3憲法集会in京都 戦争ではなく平和な暮らしを

2025.11.3 / 円山公園音楽堂



言論の自由抑圧は戦争への道―
「治安維持法犠牲者に謝罪せよ」
の横断幕が都大路を勇んで行く



(617 号付録)

京都版 第 471 月号

2025 年 11 月 15 日

治安維持法犠牲者

国家賠償要求同盟

京都府本部

〒604-8832 京都市中京区

壬生下溝町 51-41

TEL : 075-312-8787

FAX : 075-325-3863

E-mail

Info@kokubai-kyoto.com

ホームページ

<https://kokubai-kyoto.com>

憲法が公布されて 79 年の

「憲法集会」が 11 月 3 日に円
山音楽堂で開催されました。

初めに、「憲法 9 条の会」の長
谷川英俊代表世話人が、開会の
あいさつをしました。

来賓あいさつとして共産党・
社会民主党・新社会党・令和
新撰組などが訴えをしました。

続いて、高橋純子朝日新聞編
集委員が、「記念講演」をしまし
た。同志社大学の恩師・九条の
会呼びかけ人でもある故鶴見俊
輔氏の著書から引用して、野党
時代の自民党の「改憲草案」で
は、「公共の福祉」から「公益と
公の秩序」による個人の基本的

人権を制限する論法をもちだし
ているとの趣旨を指摘。これに
対して、異議申立てする市民的
な「反射力」の大切さを強調し
ました。

また、同集会で採択された「ア
ツピール」では、「スパイ防止法」
の名のもとに、市民を監視し、
人権侵害・弾圧する手段となる
法律も速やかに成立させようと
していると警鐘を乱打しました。

市民スピーチとして、「祝園
(ほうその) 分屯地の弾薬庫の
拡張は京都を敵基地攻撃の最前
線にするもの」と糾弾の訴えが
ありました。

集会後の円山公園から市役所
前までのデモ行進では国賠同盟
京都府本部は、原田完会長を先
頭に横断幕を掲げ行進し、街頭
の市民や観光に訪れた外人さん
と指先での V 字サインを交換し、
「排外主義 NO の反射力を実践
しました。」

第 34 回全国女性交流会に参加
して

林 森一

今年は、10 月 26 日、27
日に、昨年と同じ愛知県蒲郡温
泉・ホテル竹島で開かれました。

予定していました女性の参加
ができずに女性部担当の私・林
森一と栗倉正江さんと 2 人が参
加しました。

1 日目の記念講演は、清末愛
紗・室蘭工業大学院の若い教授
の講演です。

演題は、「治安維持法 100 年
いま憲法 24 条を考えるー非暴
力的な社会を築くために」で憲
法 24 条の平和的生存権につい
て大変よくわかる講演で憲法前
文・9 条、24 条の関連は始め
て教わるお話でした。

中央本部の永島民男事務局長
からは、高市自維政権の誕生と
国の将来、スパイ防止法をめぐ
る各政党の動き、私たちの取り

組みについて詳しい報告がありました。

治安維持法100年の全国のこれまでの取り組みとこれから年末までの取り組みが紹介されよく分かり大いに励まされました。

2日目は、4つ分科会が開かれました。

第1分科会「現代版治安維持法を許すな」

第2分科会「ジェンダーの視点から憲法を考える」

第3分科会「女性部活動を進めるために」

第4分科会「マスメディア報道を考える」の4分科会が開かれました。

私は、第1分科会に参加しました。22府県30名を超える参加がありました。

栗倉さんは、第2分科会に参加しました。

急遽参加する事になった全国

女性交流会に参加して、全国各地で女性部の活動が積極的に展開されている事がよくわかり京都府本部での女性部再建に生かしたいと思いました。

「10・19ミサイルいらない

祝園全国集会」に参加して

祝園ネット副代表 塩貝 建夫



前日の雨で天気心配でしたが京都南部精華町の京阪奈記念公園に、南は沖縄石垣島から北は神奈川まで2700人が参加、集会は大成功でした。

「私たちは二度と戦争をしたくない！平和でこそ文化は香り立つ！」を掲げ、戦争止めよう！沖縄・西日本ネットワーク10・19祝園全国実行委員会が呼びかけて行われ元気の出る1日になりました。

第一部午前中は、府内や沖縄のミュージシャンによるライブで参加者と一緒に「武器なき日本」実現への祈りを歌い参加者の連帯を盛り上げました。

午後からは、西日本各地で市民運動を展開している闘いの経験交流が行われました。

石垣島からは、自衛隊配備と米軍の共同訓練、米艦船・海自艦入港などの実践訓練、避難計画で福岡、大分、山口へ出てい

けと言わんばかりの計画押し付けられている実態。大分からは、

敷戸弾薬庫の増設工事が全国に先駆けて始まり、祝園弾薬庫と敷戸弾薬庫は「双子だと思っ

ている」と発言。熊本市の「平和を求め軍拡を許さない女たちの会・熊本」の女性は、防衛省九州防衛局が8月、長射程ミサイ

ル「12式地对艦誘導弾能力向上型」国内で最初に熊本市の陸

自・健軍駐屯地に配備する予定なのに住民に説明なく配備！と怒りの報告。広島・呉・岩国か

らは、空母「加賀」、輸送艦配備で軍港化が進んでいると報告。神戸市からは、「台湾有事」に長

射程ミサイルが祝園弾薬庫から南西諸島に輸送される際、呉基地と共に移送拠点になると報告。

愛知からは小牧市の三菱重工小牧北工場で、長射程ミサイル「12式地对艦誘導弾能力向上型」等の製造がおこなわれて



野・憲法と暮ら

真梨子・大阪交

精華町民（島本

ットワーク、

平和を！近畿ネ

滋賀あいば野に

ネットワーク、

のための舞鶴

を生かす・平和

建設を憂う宇川有志の会、憲法

る・奈良の会、京丹後米軍基地

園ミサイル弾薬庫問題を考え

らに知らせるとの決意表明。祝

名活動での町民の不安な声、さ

関西チームから、祝園ネットの

代表真崎さんから精華町での署

て闘う決意表明。

和の京都にするために連帯し

代表京都総評梶川さんから「平

能性を報告。京都の働くものの

中で自衛隊との共同使用の可

滑化に向けた棧橋整備が進行

須賀の弾薬積み下ろし作業円

いると報告。神奈川からは、横

しを考える会・最終トークに「沖

縄戦遺骨収集ボランティア『ガ

マフー』（具志堅隆松）などから

それぞれの地域で戦争への準備、

米国との共同訓練の現状、実態

が報告されました。

集会の最後に「大軍拡・戦争

準備に反対する全国の皆さんと

つながり、手を取り合い、戦争

への道を押しとどめましょう」

との集会宣言が採択されました。

その後、ピースパレードが行

われ、「学研都市に、全国どこに

もミサイルいらない」「戦争準備

を今すぐやめよう」などと唱和

しました。今まで各地「点」で

闘っていたものが、ここ精華町

の集会で「線」となり連帯して

戦争する国づくりに抗う強力な

スタートの場になりました。明

日からの署名・宣伝行動、知ら

せる取り組みのエネルギーをも

らった1日となりました。

治安維持法・京都学連事件 100 周年事業のご案内

☆☆☆☆☆ 逆流に抗して、自由を求めた青年たち ☆☆☆☆☆

— 治安維持法国内第 1 号の「京都学連事件」100 周年を問う —

とき：2025 年 12 月 13 日（土）13 時～16 時 30 分

会場：立命館大学朱雀キャンパス（JR 二条駅近く）

内容：①基調報告：勝村 誠 立命館大学政策学部教授

②国境を越えたエスペランチスト・長谷川テル：西田 千津 奈良・長谷川テル
顕彰の会推進委員

③淡徳三郎の「フランス人民戦線」などの通信活動：佐藤 和夫 京都の民主運
動史を語る会世話人

④反ファショの学生運動：広川 禎秀 大阪公立大学名誉教授

⑤大学自治の現在と学術会議の危機：科学者会議京都支部

司会・コーディネーター/井口 和起（事業実行委員会呼びかけ人）

■会費 資料代 500 円 ZOOM と対面のハイブリット形式で

※ZOOM 参加を希望される方は、下記のアドレスに

①お名前 ②所属先 ③電話 ④あなたのメールアドレスをお知らせください。
mizuki@cream.plala.or.jp

問い合わせは、実行委員会事務局 井手まで
京都学連事件・治安維持法 100 周年事業実行委員会

支部だより

京丹後支部

副支部長 森 勝

50%) 達成を目指す。

組織の強化については、①「不屈」丹後版の定期的な発行。

②女性部の設立を目指して協力者を探す(支部の女性比率17、7%) ③分会(各町別) 設立を目指す。④「不屈」配付者、「同盟費」集金者が加重負担とならないように体制の見直し⑤「新年のつどい」を2026年1月に行う。

国会請願署名については、個人署名は各役員が目標を持って牽引役となり、団体署名は11月中に要請に回る。早々に20名の署名を届けてくれた同盟員は「今年は治安維持法制定100年。高市政権は『スパイ防正法』の制定を狙っておりいつもより頑張らなければいけないと思った」と言っています。昨年のように「全同盟員が署名を」合言葉に当面12月末までに1,000筆(支部目標の

8回倉岡愛穂墓前祭」実施に向け計画を立てる(支部は事務局担当)。等を確認しました。新役員が入ってきた事で再任役員も決意を新たにスタートしました。

宇治洛南支部

支部長 山崎 恭一

支部総会成功へ向けて対策と準備を確認

11月8日に理事会を開催し、12月7日の支部総会の準備を相談しました。

10月の理事会で検討した議案に、高市首相誕生の情勢と精華町での祝園弾薬庫拡張反対全国集会の成功などを加えることを確認。新役員に宇治市議の谷上さんと生健会の佐藤さんに加わってもらうことを確認し、さらに数名の役員候補への要請をぎりぎりまで続けます。さらに

総会の議事・役割分担を決め、参加者を確保する段取りを話し合いました。この数年の総会には、コロナ禍のため文書を郵送して確信する形態などが続き、久しぶりに集まった今年の総会参加者は8人でした。今度は20人以上の出席で成功させようと取り組みを打ち合わせました。友好団体への案内、宇治、城陽、久御山、京田辺、八幡と行政区ごとに総会案内と参加要請の担当者を決めました。

総会当日には、佐藤和夫副会長による講演「治安維持法100年を問う」も準備しています。今年は治安維持法100年という節目で「レジスタントの京都」出版もありメディアでも取り上げられることが大幅に増えましたが、その勢いを来年も続けるためにはしっかりした組織作りが必要だと話し合いました。